

# 秋 田 県 書 道 連 盟 会 報

第 126 号 連 盟  
 秋 田 県 書 道 連 盟  
 事務局 秋 田 市 泉 野 一 丁 目 18-1  
 三 浦 湯 舟 彦 部  
 発 行 人 長 沼 雅 彦  
 編 集 広 報 部  
 (題 字 : 長 沼 雅 彦)  
<http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>

## 「一陽来復」春を待つ 秋田県書道連盟理事長 長沼雅彦



新しいコロナ株オミクロンの蔓延が止まらない。感染力がこれまでの株とは段違いの強さを持つこの株によって、秋田県でも連日、新規感染者二百人を超えてきた。

幸いにして重症者はほとんどいないものの、我々のまわりに覆いかぶさる不快感はどうしようもない。今日はこの小学校休校、どこかの職場にクラスター発生と心休まるひまがない。

今年度の最初の会報をこのような不愉快なかたちで書き起こしていくのはどうもはばかれるのだが、連盟の活動がこのことから離れては存在しないのだから、仕方ない。これも連盟の長い歴史の一現象ととらえて、このことを後世に伝えていくうえでもあえて話題にしていく。

このような状態が始まって二年が過ぎた。当初はワクチンが開発されれば流行が収まるだろうと何となく考えていたが、なるほど、専門家が話していた通り、

ウイルスは変異をくりかえし、そのたびに流行して第なん波と数えられる。外国から入ってくるからと空港を閉鎖しても防ぎきれものではないようだ。

ワクチンは打っても効果は百パーセントではなく、複数回打ってもそれをぐりぬけてくる場合があるというから、たまらない。こうなれば、やはり当初から専門家が述べていた通り、ウイルスが弱毒化して、人々の免疫力が高まるのを待つしかないということかもしれない。希望の見方かもしれないが、全国的にはその兆候が、仄見えてきたように思うが、どのように推移していくか、見守って行くしかないようだ。

さて、昨年度連盟の活動は、創立六十周年の記念展という大事な事業があった。これは四十周年、五十周年と続いた本連盟と外国、あるいは外国と北東北との共催の形をとることにした。このような状況にもかかわらず、何とか成功させたいと準備を重ねた。青森、岩手の代表の先生には、電話でお話ししただけで、ころよく要請に応じていただけたこととなった。台湾に関して前も書いたとおり、山谷氏と黄敏氏にお世話になった。特に台湾側の丁寧で心のこもった対応には有難く、胸に響くものがあった。

皆さんは作品集を見てどのような感想をもたれたでしょうか。私の眼には会員の作品には力作が多く、この展示会の意味をよく理解していただいていると見え

た。「令和三年の秋田県の書をここに残したい」と私のはがきで特にお願ひしたことが、皆さんに伝わった結果としたらこんなうれいことはない。

ご招待した台湾、青森、岩手の作品群はそれぞれ作者の書に対する姿勢、研鑽の跡がよくあらわれていて、見ごたえがあった。皆さんの書に対する視野を広げる意味でも多大な効用があったことと思われる。

書初め席書大会は、武道館改修工事、コロナ禍による公募形式という変則的開催を受けて、今年度も応募のかたちで、行うことになった。図らずしも前二回の大会がハーフサイズの形になって、実にスムーズに事が運んだことであった。しかし、オミクロンの影響により、表彰式まで中止にせざるを得なかったのは心残りであった。表彰を受ける子供たちのうれしそうな笑顔と、一緒にいらした保護者の、本人よりうれしそうな顔が見られてこそ、書文化を受け継いでいってこれる人を育てているという実感を感じ取る時だからである。

研修会、講演会、会員同士の懇親会すべてが中止せざるを得なかった。ホームページ上である程度は発信しているが、なにしろ活動が成り立たない。

長い冬があけて、皆さんと「蘭亭の宴」を催し、熱く秋田の書の未来を話し合いたいものである。



第13回秋田県新春書初め大会の審査風景

# 第13回秋田県新春書初め大会

## 主催

秋田魁新報社  
秋田県総合公社  
秋田県書道連盟

## 会期

令和4年1月27日(木)～1月30日(日)  
午前10時～午後5時  
(初日は正午から、最終日は午後4時まで)

## 会場

さきがけホール

「書初めを通じて伝統文化の再認識を図り、書道文化の振興並びに書写・書道教育の充実に寄与する」ことを目的に、毎年開催されています。今年も応募作855点。今ではもうすっかり新年の行事として定着しています。

また、ご提供いただいた俳句や短歌等を同連盟会員が書で表現した「書と文芸のコラボ」12点も展示されました。

1月16日(日)、さきがけホールにて審査、展示準備作業を行いました。



魁新報社の皆様は結果を受けて入力作業！  
左から小番さん、福原部長、青島さん。



作品を並べて審査がはじまりました！



道川屋さんの指示のもと、手際よく台紙を準備しています！



長沼理事長を中心に厳正な審査を進めます



1月30日(日)に予定しておりました表彰式は、新型コロナの感染拡大により中止になりました。展覧会終了後は毎年、秋田魁新報社の皆様が、展示作品を丁寧に外してくれております。



「創立60周年記念展で行った  
活性化委員の活動について」

秋田県新春書初め大会は県立武道館の改築工事や新型コロナの感染状況を踏まえ、この3年間は、公募での作品募集が続いております。この様な事態になるまでは県立武道館の一角に、活性化委員による「書の体験コーナー」を設け、多くの皆様に楽しんでいただいております。この活動が近年できていないのはとても残念なことです。  
ここに活性化委員の活動を紹介します。

秋田県書道連盟60周年にあたり、7月10日開催の記念行事をお手伝いさせて頂いたことは、活性化委員会の今年度最大のミッションでした。主な活動は次のとおりです。

- 開幕式でのテープカット設置
- 展覧会会場での新会員募集活動
- 祝賀会運営

特に力を入れたのは展覧会会場での新会員募集活動です。「60周年からさらなる未来へと繋げる新会員募集」をコンセプトに、会場入り口に案内ブースを設置させていただきました。実施内容は、ポスターの展示、会員申込書の積み置き、問い合わせ対応等です。  
三浦湯舟総務部長はじめ連盟の皆様にご教示頂き無事終了できました。新会員募集活動は折に触れ今後も展開して参ります。ありがとうございます。

(活性化委員長 保坂潤子)



開幕式でのテープカットに備える活性化委員



委嘱状交付式で気を引き締める  
保坂活性化委員長

# 第6回新春小品書展

主催 秋田県書道連盟

会期 令和4年1月27日(木) ~ 1月30日(日)

午前10時 ~ 午後5時

(初日は正午から、最終日は午後4時まで)

会場 さきがけホール

「本展は拘束のない独自の発展を重んじ会員相互の親睦と本県書道文化の向上に寄与すること」を目的に、毎年開催されています。今年も80点の出品がありました。

また、83社の広告もパンフレットに掲載され、その数に驚いた方も多くいらしたのではないのでしょうか。各方面からの同連盟への温かいご協力に心より感謝申し上げます。



笑顔で来場者をおもてなし。  
左から山口さん、道川屋さん、保坂さん。



# 第84回秋田書道展覧会

※写真は  
秋田魁新報社提供

主催 秋田魁新報社

会期 令和3年10月30日(土)～11月3日(水)

午前10時～午後5時

会場 アトリオン

小学生から一般まで腕を振るう、県内最大規模の公募展です。審査主査の杭迫柏樹さん(京都市)と県内書家が審査し、入賞406点、入選163点が決まりました。

本連盟会員の魁星賞、一般一科(推薦、特選、秀作まで)、一般二科(優作、秀作、佳作まで)を紹介します。おめでとございませう。

## ▼魁星賞

浅野 玉韻(秋田市)「伊藤左千夫の歌三首」

### 「旅の途中の新展開」

慌ただしく過ぎてゆく日々の中で、一年の総仕上げともいえるべきに存じます。これもひとえに、家族の理解あつてのことと感謝しております。



で、一年の総仕上げともいえるべきに存じます。これもひとえに、家族の理解あつてのことと感謝しております。

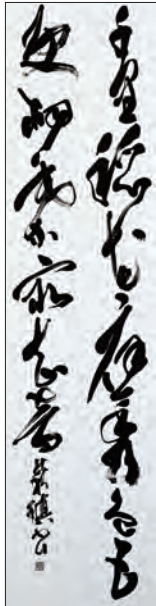
振り返りますと、幼少の頃から始め、きっかけとなった十数年前、新しい生命力の未知の世界を探検するような期待がふくらみ、喜びを感じ、根づいて来た時期だったと思います。沢山の暖かな刺激と共に、淡々とした中での動き、柔らかな筆のリズムの変化を少しでも師に

近づきたい思いで傾注し歩んで来ました。また、時には仲間から批評を頂き、勇気付けてもらいました。

平成18年に教室を開業し、現在に至っている自分の選んだ道。

開業する際とまだまだ変わらない思いで個性を尊重し、明るい未来に繋がります様、裾野を広げて活かしたらと思っております。

角田 萩瑛(秋田市)「曾幾詩」



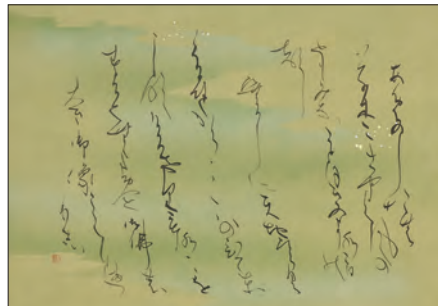
### 「魁星賞ですか？」



魁新聞社からの取材時、私がいただいても良いのでしょうか、と思わず発してしまいました。

今思えば、電話の向こうの記者の方にしたら、返答にお困りになられたらと思うます。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

夏の終わりの、秋近づくと田園風景を詠った宋



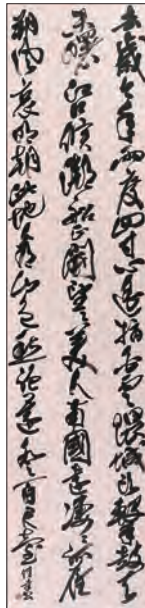
時代、曾幾の句。山、川、田畑に囲まれた田舎育ちの私は、この素晴らしい詩に導かれ、先生のアドバイスと社中の皆様から声をかけていた大きながら、どうにか創作に至りました。身に余る大変な賞を頂戴できましたのは、日々、けいこに勤しまれていらつしやる先生方、共に学ぶ仲間の皆様、そして連盟の先生方のお陰です。どうもありがとうございました。

### 一般一科

#### 【自運漢字】

#### ▼推薦

藤本 佳幸(秋田市)「李応徴詩」



#### 【受賞の記】

第84回秋田書道展にて、思いがけなく推薦を頂くことが出来ました。新聞を開き、自分の作品が目に入って来た時は、驚きと嬉しさの余り、年甲斐もなく気が昂りました。一重に富樫先生の熱心な御指導と、暖かい励ましのお陰と心から感謝しております。又、社中の仲間、友人からの沢山のお祝いのお言葉やお便り等、本当にありがたく、幸せな事と思っております。長年「好き」という事だけで書き続けて来ましたが、今後も無理なく、楽しんで続けて行きたいものと思っております。今まで数多くの素敵な出会いがありました。全て生涯の宝物と思っております。

三浦 健幸(秋田市)「書譜の一節」



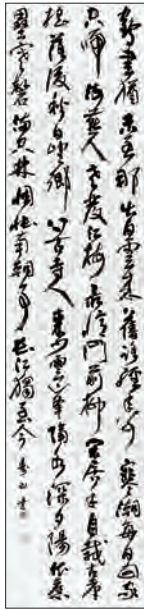
「道愈峻」

8年ぶりに推薦となりました。その間、幾度か特選でしたが、やはり推薦の重みは別格です。そして、この度、おかげさまで無鑑査となりました。

これまでは、先生に手本を書いて貰っていましたが、無鑑査になると、自分で書くようになります。つい最近、会派の作品展があり、自分で書いてみましたが、なかなか難しいものです。

先生に就いて、約20年になりますが、今、ようやく書の入り口にいるような気がします。この先、どういうふう書いていけばいいのか、無限の空間に放り出された感じで不安しかありません。それとも、自由に書く楽しみとなるのか。さて、どうなることでしょう。

千田 寿山(井川町)「劉長卿詩二首」



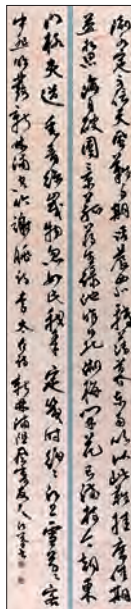
「オードロキー!!」

書歴は長いのに、落選や入選が普通で、稀に褒状ということが常態化していました。しか

し、ここ数年で二度も推薦を受賞するなんて、とても驚いています。二度とも自運漢字での受賞なので、臨書にも力を入れたと思っ

ています。普段から基礎勉強としては広く浅くかいつまんで勉強していますが、深く掘り下げて取り組んでいる法帖は特になく、一人で勉強して展覧会に入賞するような作品に仕上げるには限界があるようにも思えます。元々推薦なんて生涯受賞できると思ってもみなかったもので、これからも基礎勉強のつもりで気長に取り組みたいと思います。

鎌田 江葉(秋田市)「李太白詩」



「推薦」を受賞して

この度、第84回秋田書道展に於いて、「推薦」を戴くことが出来、その上、身に余る講評を賜り、厚く御礼申し上げます。

この作品はなかなか大きさがまとまらず、最後にピンクの用紙に無心に書き込んだ最後の一段でした。

新聞発表の日、40年師事している東海林汎山先生と電話でハグし、喜びと緊張で体中の震えが止まりませんでした。

これからも書を愛する仲間と切磋琢磨し、この賞を励みに牛歩ながら精進してまいります。ありがとうございます。

吉田 倅舟(潟上市)「中秋陰雨」



「秋田書道展推薦を戴いて」

この度、第84回秋田書道展におきまして、身に余る推薦を戴き、大変光栄に存じます。これも偏に、日頃より熱心にご指導くださる東海林汎山先生のお陰と、心から感謝申し上げます。また、コロナ禍の中、審査にあたられました先生方に厚く御礼申し上げます。

11年前、「のし袋を綺麗に書きたい」という軽い気持ちで入門した私に、汎山先生は書道の楽しさを一から教えてくださいました。諸先輩方から作品作りへの取り組み方を学び、同志とともに研鑽を積むことができる環境にとっても感謝しております。

まだまだ未熟者ではございますが、この度の受賞に恥じることがないよう、これからも精進して参ります。誠にありがとうございました。

▼特選

道川屋 悟(秋田市) 一ノ関清山(秋田市)  
佐々木采嘉(横手市) 松橋 聖泉(秋田市)

▼秀作

田村 芳汀(秋田市) 東海林龍文(秋田市)  
深井 春祥(潟上市) 佐藤 颯(潟上市)  
小玉 竹翠(能代市) 山口美代子(秋田市)  
横山 由希(男鹿市)

【臨書漢字】

▼特選

鎌田 江葉(秋田市) 藤本 佳幸(秋田市)  
松橋 聖泉(秋田市)

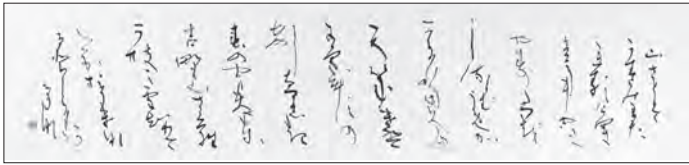
▼秀作

古田 柯香(秋田市) 深井 春祥(潟上市)  
成田 昌子(男鹿市) 三浦 健幸(秋田市)

【自運かな】

▼推薦

佐藤 有希(仙北市) 「西行の歌」



「次の一步へ」

この度は自運かなの部において推薦という身に余る賞をいただき、大きな驚きと喜びを感じております。私事ながら、2021年は長らく親しんだ名字と住まいが変わり、職場も変わるなど、身の回りに大きな変化が起こった年でした。あれよあれよという間に時間ばかりが過ぎ去ってしまい、練習に存分に励んだとは言いがたい状況下でも、優しくご指導いただきました根北楸先生、支えてくださった皆様あってこそ、今回の受賞であったと深く実感しております。そうした方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も一歩ずつ、次の目標地点に向かって歩みを進めて参りたいと存じます。本当にありがとうございます。

▼秀作

嶋野 青城(秋田市)

【大字書】

▼推薦

大黒 禾苑(秋田市) 「茲」



【新しい目標】

受賞を知ったときはただ、「驚！」です。大字部門出品歴も浅く、まだまだ勉強中の身で、ただけるとは思いもありませんでした。(同時に出品していた他部門の間違いかとも思いました。)

制作は試行錯誤を重ねながらも、先輩からアドバイス、叱咤激励の言葉をいただきました。比較的短時間で仕上げることができました。このコロナの時期、ご指導もリモート中心で少々苦労はありましたが。

日頃、色々な書体やジャンルにも挑戦してみたいと思っていました。これを機に諸先輩や仲間のご協力を得ながら、少しずつでも勉強を続けたいと考えています。

▼特選

堀井 直子(由利本荘市)

【調和体】

▼特選

阿部 公美(秋田市) 佐々木青爛(秋田市)

▼秀作

三浦 芳流(由利本荘市)  
菊地 謙二(由利本荘市)  
石川 抱鶴(秋田市)

【一般二科】

【自運漢字】

▼秀作

福原 桃李(秋田市)

▼佳作

佐藤 桂葉(秋田市)

【漢字臨書】

▼優作

堀井智香子(秋田市)

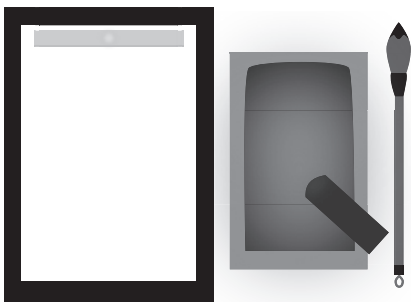
▼秀作

東海林樹香(秋田市)

【調和体】

▼佳作

壹岐 香荷(秋田市)





# 表彰式

**日時** 令和3年10月31日(日)午後2時～  
**場所** 秋田魁新報社 1階さきかけホール

- 1、開会のことば  
審査員紹介
- 2、表彰
- 3、主催者挨拶  
秋田魁新報社 代表取締役社長 佐川 博之
- 4、閉会のことば



審査員の先生方



佐川博之会長ごあいさつ



表彰式後の和やかな記念撮影



魁星賞 おめでとうございます!

## 展示会の様子



第一会場 小学生半紙(1年生「うし」)



第一会場 無鑑査



第一会場 調和体



第一会場 審査主査・審査員の先生方の作品



第一会場 自運漢字



第一会場 篆刻



第三会場 高校生条幅・一般二科



第四会場 臨書かな



## 那 墨痕あざやか 波

あなたの筆勢を伝える筆。  
「書」の心をうつす墨、紙。

## 那波紙店

〒010-0921  
秋田市大町四丁目3-35  
☎ 018-823-4311(代)

## 総合書道用品販売

- ◎展覧会・企画・展示
- ◎〈表具〉〈額装〉〈軸装〉
- ◎各種展覧会搬入搬出承ります
- ◎文房四宝・低価格にて提供しております

## 株式会社 クラヤ

〒010-0952 秋田市山王新町4-5  
TEL 018-863-6001 FAX 018-863-6004  
ホームページアドレス <http://www.1ocn.ne.jp/~kuraya>  
メールアドレス [kuraya@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:kuraya@seagreen.ocn.ne.jp)

# 「恩師秋田師山先生に感謝をこめて」



故秋田師山先生

無常の風は時を選ばず。昨年8月21日満87歳で黄泉へと旅立たれた秋田師山先生。仏壇の横に飾られていたのは「良寛に 辞世あるかと 人間はば 南無阿弥陀仏といふと答へよ 世の中に 何が苦しと 人間は 御法を知らぬ 人と答へよ」俺が死んだら飾る様に」と奥様に託された屏風でした。

秋田の教育分野や書道の発展に、心底ご尽力された数々の功績に加え、人望が厚く、多くの方々から慕われていたことは、私達弟子一同の大きな誇りでもありました。

自ら師を求め神戸へ通い、金冬心の書風を探究され自家葉籠中の物としながらも、自分のコピーを作らないという信念のもと、弟子にはそれぞれ個性を活かした手本を書いておられました。

「未完成の中に美しさがある」と言われた先生。それは正しい審美眼を

持ち、日々研鑽を積んでこられたからこそ言える言葉だと思えます。先生はいつも穏やかでしたが、時に「俺は一本の線を引けるようになる為、何年も神戸へ通ったんだよ」と精進する厳しさを説かれたことも忘れられません。

また、亡き後、絶筆が封筒に入っているのが書齋で見つかり、晩年入退院を繰り返しながらも、米寿展に向け準備されていたのかと驚嘆の一言です。

先生にめぐり逢えたご縁とご教示頂いたご恩を心に刻み、この道を歩んで行こうと思えます。先生ありがとうございました。(小松璐秋)



お弟子さんに囲まれて

## 「日本海中部大津波殉難者慰霊碑」

能代港展望台付近に「日本海中部大津波殉難者慰霊碑」があります。

今から29年前、1983年(昭和58年)5月26日正午、能代火力発電所の用地造成や護岸工事の最中で多くの人々が働いていました。そこにマグニチュード7.7の地震発生。そのわずか数十分後、高さ10mの津波が襲い、36名の人命が奪われてしまいました。

慰霊碑は、当時の秋田県知事・佐々木喜久治氏の揮毫により、裏面には殉難者への哀悼の詞と、碑下部には殉難者36名のお名前が刻されています。

そして忘れもしない「東日本大震災」。地震や津波などの被害対策を社会・家庭や個人に求められています。が、私たちの心の中に正直あまり関係ないと思つている方もいるかもしれません。

日本海中部地震を思い起こし、日本海でも大きな地震があつた場合、短時間で津波が襲いかかることもあるという事を、海岸付近へ訪れた際は考えることが、殉難者への霊に少しでも報いる事になるのではないのでしょうか。(加藤華翠)



### 第20回秋田一先会書展

(R3.11.27～29 秋田市アトリオン2階[第1展示室])



## これまでに開催 された主な展覧会 (連盟会員所属団体)

### 千田寿山小作品展

(R3.12.24～R4.2.28 井川町公民館町民ギャラリー)



### 第2回秋田の書展

(R3.9.2～5 秋田県立美術館1階[県民ギャラリー])



### 第17回毎日書道秋田新春展

(R4.1.14～17 秋田市アトリオン2階[第1、第2展示室])



### 第34回清芽会書展

(R3.10.1～4 由利本荘市文化交流館カダレー1階[ギャラリー])



### 第44回瀾の会書展

(R4.1.21～23 秋田市アトリオン2階[第2展示室])



### 第39回秋田墨滴窓友会書道展

(R3.11.19～21 大仙市花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」別館1階)



秋田県書道連盟創立60周年記念作品集

前回の会報で特集しました「秋田県書道連盟創立60周年記念展」の感動が一冊の本に集約されました。



本展覧会出品者には、すでに一冊郵送いたしております。購入希望の方は事務局までご連絡下さい。1冊2000円(税込)です。数に限りがございますので、お早めにお願います。

今後開催予定の主な展覧会

第53回六葉会書展

令和4年4月15日(金)～18日(月)

アトリオン2F 第1展示室

創立60周年記念 第60回秋田市書道会展

令和4年4月22日(金)～25日(月)

アトリオン2F 第2展示室

第35回秋田一東書道会展

令和4年5月13日(金)～15日(日)

アトリオン2F

総務部・IT部に届いている展覧会を掲載しております。ご了承ください。

広報部より前回会報(125号)の訂正とお詫び

(誤)伊藤頸草 ↓ (正)伊藤薊草

(誤)鎌田紅葉 ↓ (正)鎌田江葉

県展「奨励賞」佐藤有希「西行の歌」(仙北市)

大変申し訳ありませんでした。

総務部より秋田県書道連盟会員名簿の訂正とお詫び

浅野玉韻 電話番号

(誤)〇一八―八三九―五三三八―

↓(正)〇一八―八三九―五三三八四

大変申し訳ありませんでした。

会員募集

日頃から本会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本会は、より多くの書道を愛好する皆様に活躍と研修の場、作品発表の場、会員相互の情報交換の場などとしていただくため活動しております。会員は随時募集しておりますので、事務局までお問い合わせ下さい。ホームページもごらん下さい。事務局 秋田市泉菅野一丁目18-1 三浦 湯舟 ホームページ <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>

編集後記

令和3年10月15日、「登録無形文化財」に書道と伝統的酒造りの2件が初めて登録されました。書道は、芸術における美的な表現と、生活文化に根付いた歴史的意義が評価されたとのこと。このような明るいニュースは、書道を愛好する私たちにとって、嬉しい限りです。若い世代に確実に繋いでいきたいと思う今日この頃です。(広報部一同)

一般書道総合誌 教育書道



69年の歴史をもつ秋田県随一の月刊書道誌 書写指導に好評を得ております。

書友社

〒010-0954 秋田市山王沼田町11-11 TEL 862-3484 FAX 862-3485

情報社会に育つ

株式会社 塚田美術印刷

本社工場/〒010-0921 秋田市大町一丁目6番6号

TEL 018(823)5551(代) FAX018(823)5553

URL : <http://www.akita21.com/tsukada/> E-mail : [tsukabi@cna.ne.jp](mailto:tsukabi@cna.ne.jp)

美術表装一式

掛軸、和額、屏風、襖

中山表具店

〒011-0917 秋田市飯島道東二丁目4番10号

TEL 018(846)8496